

浜松観光ボランティアガイドの会

三方ヶ原の戦い 記念碑の除幕式



左より斉藤さん、中野市長、波岡さん

写真提供：浜松市

去る4月29日に俳優松本潤さんと有村架純さんが犀ヶ崖古戦場にて鍬入れ式を行った三方ヶ原の戦いの記念碑が完成し、7月15日(土)に除幕式が行われました。

この記念碑の石は「美濃石」で、「平和への祈りを込めて」の文字が刻まれています。台座を含め高さ約190センチ、幅約130センチの大きさです。三方ヶ原の戦いの戦没者への鎮魂と、未来にわたる平和祈念のためにつくられました。裏面銘板には大河ドラマ「どうする家康」の出演者14名の名前と役名が紹介されています。

除幕式は午後4時から開式され、中野祐介浜松市長とゲストの俳優波岡一喜さん(本多忠真役)のご挨拶があり、「家康プロジェクト推進協議会」会長の斉藤薫浜松商工会議所会頭と3人が除幕をしました。その瞬間、大きな声と大きな拍手が湧きました。これから「記念碑」をごらんになる皆さんは銘板の俳優名と役名を重ね、今後のドラマの展開を楽しんでください。

広報部 阿形守康(東ブロック)

4年ぶりの犀ヶ崖遠州大念仏の夕べ

2020年・21年・22年の3年間「コロナ感染拡大」のため開催できずにいました「遠州大念仏」が7月15日(土)夜、犀ヶ崖古戦場の広場で4年ぶりに開催されました。

簡単に供養の流れを説明します。供養の施主様宅に頭先(かしらさき)が上がり線香を手向けます。庭先では前に太鼓を並べ少し下がって双盤、笛、摺鉦(ずりしょう)、音頭取り等供回りが並び、音頭取りの「歌枕」の唱和に合わせて「太鼓きり」の踊りが始まります。歌詞は回向する故人によって一部が異なりますが「太鼓きり」の踊りは同じで両手にバチを持ち太鼓を切る様に叩き、飛び跳ね、体で弧を描く様にさまざまな表現を見せます。25分ぐらい続き回向が終わると施主様から飲食の接待を受けます。お礼に「礼念仏」と言う短めの回向をします。回向が終わり出て行く時も見どころの「出」を見せます。「太鼓きり」と「出」は組により違いが出ます。ここ「資料館」での回向は資料館内部に畳を敷き祭壇を作り「勝軍地蔵尊」を祀ります。頭先が上がり線香を手向けて始まります。

今年は午後7時から45名から成る「寺島組」(浜北区)が出演しました。男女の小中学生の参加もありにぎやかでした。また「おかめ」「ひょっとこ」の手踊りがありました。これは初盆の寂しさの中での笑いのようなものです。昼間行われた記念碑の除幕式に出席されました中野市長と波岡一喜さんが再訪し「寺島組」の熱演を見て楽しんでいました。500人位の観客が集まったのでしょうか。

午後8時からは25名の成人の男性から成る「新原下善組」(浜北区)です。この組の「出」がすごかったです。資料館内のビデオで写っている様に寝っころがり、10分ぐらい続いたのでは・・・。

50年ぶりに見ましたが哀愁漂うリズムは心に響き亡き人の面影が浮かんできます。

広報部 阿形守康(東ブロック)



遠州大念仏・新原下善組の熱演

夏休み子供講座

「三方ヶ原の戦い 450年!!」



◆7月30日(日) 1日目 協働センターでの座学

今年の子供講座は「三方ヶ原の戦い 450年!!」というタイトルで、まず1日目は座学で行われました。浜松市内外から小学生男女19名が会場の北部協働センターに集まりました。

当会小池副会長から挨拶、概要の説明の後、講師は事業部の堀内さんが務められ、約2時間熱弁をふるいました。



クイズで盛り上がる子供たち

途中休憩を挟みながら堀内講師が三方ヶ原の戦いに至るまでの経緯と、武田軍の進軍ルート、実際の戦闘の流れや、戦い後の状況まで、プロジェクターで写真や地図も写しながら解説しました。武田軍が三方ヶ原での勝利の後、浜松城を攻めなかった理由については、織田援軍警戒説や信玄体調悪化説など諸説を提示し、参加者が今後も興味を持ち続ける余地が残るような巧みな説明でした。

大人でもかなり難しい内容だったと思いますが、優しく丁寧な説明でしたので、参加者の皆さんも必死にくらいついていっている印象でした。講座の後は中村事業部長による、『家康公2択クイズ』で盛り上がって終了となりました。

◆7月31日(月) 2日目 現地学習



天守曲輪にて

前日の座学の際に中村事業部長が、「熱中症がとにかく心配なので明日は無理をしないでください」と参加者に繰り返しお願いしましたが、願いが多少通じたのか許容範囲の暑さの一日となりました。事業部で行った下見の時は猛暑で本当に辛かったとのことで、それに比べればということですが。

2日目は21名の小学生男女が参加し、4班に分かれて浜松城から順次出発しました。午前9時中央芝生広場からスタートし、本丸、天守曲輪、引間城跡(東照宮)、せせらぎの池、奥山線路跡・亀山トンネル、三社神社と経由して、ゴールの犀ヶ崖資料館まで約2時間かけて歩いていきました。

資料館入口で冷たいお茶が参加者に配られ、皆さん充実した表情で受け取られていました。何人かの参加者と終わった後話したところ「歴史の話をしていろいろ聞いて楽しかった」、「みんなで一緒に歩いたのが楽しかった」という感想でした。

1日目の座学のときに参加者に配られた、事業部磯部さん「特製



「平和への祈りを込めて」の碑を見学

の缶バッジ(犀ヶ崖古戦場がデザインされている)」を帽子に着けて2日目の現地学習に参加した私の息子も、とても楽しかったと話していました。事業部の皆さん、暑い中本当にありがとうございました。



旧奥山線の跡をたどって移動

広報部 都築厚好(北ブロック)

25期生による松韻亭研修

6月28日(水)、25期生に24期生1人を合わせて12名、研修部3名、広報部1名の計16名で松韻亭訪問。たまたま他のお客様がなく、ボランティアガイドの会で貸し切りの状態となりました。

松韻亭を初めて訪れた人が多く、皆さん建物にも、お茶にも、お作法にも、お庭にも興味津々でした。松韻亭の平野さんがいろいろ詳しく説明してくれました。松韻亭の呈茶サービスは、お抹茶は裏千家、表千家、宗徧流の三流派が、お煎茶は方円流、皇風煎茶禮式、松月流、静風流の四流派が毎日交代で担当しています。研修当日は裏千家の担当日でお抹茶と浜松の老舗和菓子屋花鼓さんの「夏衣」というお菓子をいただきました。お茶のいただき方はもちろんのこと、流派ごとの違いや、お軸やお道具、お花の楽しみ方など、皆さんから活発に質問が出ました。茶道に興味を持たれている方は多いけれども、あまり身近ではないということを再認識しました。



庭園も熱心に見学

松韻亭では様々な文化講座が開催されていますが、その一つに能の謡や仕舞などを学ぶ能楽教室があります。講師は観世山階彌右衛門さんです。三方ヶ原の戦いで命からがら逃げかえた家康が、観世宗節に舞を舞わせたと伝えられ、徳川家と能には江戸時代を通して深いつながりがあったそうです。松韻亭でもお能の会が開催されることがあるそうです。鑑賞してみたいですね。



神妙にお茶をいただく様子

浜松城の当番時、お客様に浜松茶室の場所を聞かれることがあります。25期生の皆さんも、お茶室の場所も魅力もすでに体験済みですから、ご案内できますね。機会があったら、他流派の呈茶サービスにも行ってみてください。

広報部 松沼素子 (南ブロック)

ヤマハイ/バージョンロードに行ってきた

6月30日(金)に24期中ブロックミニ研修を企画し、17名で「ヤマハ企業ミュージアム イノベーションロード」の見学に行きました。

ここは、製品開発の歴史を展示する企業ミュージアムで、楽器、音響機器をはじめとする数百点以上を展示し、「ヤマハの歴史」や「ヤマハのこだわり」を体現できました。また、ピアノやギターなど現行製品の試奏ができます。実際にガイドの会員も試奏して、意外な特技を知ることができました。



ギターを弾く会員

展示は音や映像などと共に12のエリアに分かれて

おり、音の仕組みを知るだけでなく、製品の仕上げ方のこだわりまで見ることができ、ヤマハのプライドを感じました。

また、何よりも驚かされたのがバーチャルライブ体験でした。グランドピアノ、コントラバス、ドラムの3ピースインストバンドが自動演奏すると同時に、演奏しているプレイヤーの姿が楽器の後ろのパネル

に投影されます。

今回はヤマハスタッフによるガイドツアーをお願いしており、自動演奏中に、ガイドの方から「ぜひ自動演奏中の楽器に触ってみてください」と言われ、触れてみると微かに振動していました。コントラバスは、弦が押さえられたり弾かれたりしている様子がないのに、ちゃんと振動して演奏されていました。謎です。ここは、本当に誰もが楽しめる空間でした。機会があればまた行きたいです。

広報部 久保田 絢子 (中ブロック)



中ブロック参加者の皆さん

新入会員の入会動機



旅行やドライブ・バイクツーリングが好きで、色々なところに出かけた際に、観光案内などで情報を得たりします。そういった際に地元の観光ガイドさんなどから説明を受けることもありました。自分もそういったことをやってみたいなという、気持ちは以前からありました。

今回、“はままつ案内人”養成講座の募集があり、すでに退職して時間に余裕もできていました。また、大河ドラマの影響もあって、良い機会だと思い応募しました。

中ブロック 鈴木孝久



「ひょっとして石垣マニア？」2022年2月浜松城天守曲輪南東の櫓跡の石垣を下からじっと眺め写真を撮っていたところ声をかけられました。それから1年後の2023年2月、気が付いたら新人養成講座の席に座っていました。

元々、旅行が好きでお城もいろいろと行きましたが、地元にもお城はあるのではないかと浜松城に久しぶりに行ってみると一昔前の木が覆い茂っていた浜松城とは様子が変わって木が伐採され石垣が見やすくなり、天守門が復元されるなど様子が変わっていました。

それから、浜松城や浜松の歴史・人物・文化などいろいろと興味がわき、自分で調べたり浜松城や犀ヶ崖資料館などで先輩の方々に御教示いただいたりしているうちに顔見知りの方もでき、興味があるならガイドをやってみたらと声をかけていただき入会することになりました。浜松城や浜松の魅力を多くの人に伝えられればと思います。

西ブロック 磯邊雅延



浜松に生まれ、家系が寺であり、家康公との縁も深い育ちをした影響もあり、昔から歴史に対して親しみやすく、いわゆる歴史バカな人生を歩んできました。

先輩方のご縁もあり、この度25期として入らせていただくことになりました。まだまだ知らない知識をいただきつつ、若さを使って長く団体に寄与できればと考えております。今後ともご指導ご鞭撻の程、よろしくお願いたします。

北ブロック 原田隆史

訂正とお詫び

本誌7月号で、新入会員の堀出敏夫様のお名前を間違えて表記してしまいました。大変失礼いたしました。お詫び申し上げます。(誤;堀田→正;堀出)

7月のガイド活動 《明るく楽しくやらまいか》

「浜松城」・「犀ヶ崖資料館」・「浜松まつり会館」にて、来場者にガイドを行っています。またこの3カ所の他に「浜松市観光インフォメーションセンター(浜松駅構内)」や「家康の散歩道」同行ガイド、各種イベントとタイアップしたガイドなど幅広く活動しています。

《浜松城》

| | | | |
|-----|---|------------|------|
| 6日 | 日 | 浜松市立泉小学校 | 120名 |
| 7日 | 金 | 浜松市立可美小学校 | 108名 |
| 19日 | 水 | 浜松市立和田小学校 | 102名 |
| 19日 | 水 | 浜松市立芳川北小学校 | 20名 |
| 25日 | 火 | 湘南日本語学校浜松校 | 19名 |

《出前講座》

| | | | |
|----|---|-----------|-----|
| 4日 | 火 | 浜松市立豊西小学校 | 63名 |
|----|---|-----------|-----|

《犀ヶ崖資料館》

| | | | |
|-----|---|-------------|-----|
| 31日 | 月 | 夏休み子供講座現地学習 | 36名 |
|-----|---|-------------|-----|

《浜松まつり会館》

| | | | |
|-----|---|----------------|-----|
| 16日 | 日 | 車愛好会グループ | 45名 |
| 27日 | 木 | 萩丘第2放課後児童会 | 33名 |
| 31日 | 月 | 川崎市小学校社会科教育研究会 | 37名 |

はままつ案内人会報 253号

編集・発行 浜松観光ボランティアガイドの会

〒430-0946 浜松市中区元城町100-2 (浜松城内)

TEL 053-456-1303

メールアドレス mail@hama-svg.jp

ホームページ http://www.hama-svg.jp/

はままつ案内人

検索



家康公ゆかりの地